

ユーラシアカワウソの泌尿器疾患に関する研究報告

○伊藤 咲良
(よこはま動物園)

日本国内における、ユーラシアカワウソの死亡例のなかで泌尿器疾患が占める割合は大きく、腎機能の低下や、腎臓結石・尿路結石といった泌尿器疾患の原因究明が飼育下個体群を安定維持する上での大きな課題となっている。また、泌尿器疾患の有無には園館差があり、計画推進の一環として実施することで比較研究を推進し、課題解決を進めることで安定した繁殖、ひいては生息域外保全に寄与できるものと考え、(公社)日本動物園水族館協会内で一斉調査を行った。

本活動では、過去飼育園も含めた 20 飼育園館へのアンケート調査を実施した。さらに、本種の泌尿器疾患に関与すると考えられる飼育環境における水質調査や、飼育個体の尿検査を全 11 飼育園館で実施し、6 園館で餌の栄養学的評価の分析、結石保有個体を飼育している 1 園館で飼料成分分析を実施した。

アンケート調査により泌尿器疾患の有無には園館差を確認できたが、各調査結果においても同様に園館差が大きく、泌尿器疾患の有無と各項目結果の関係性を見出すことは出来なかった。給餌飼料の成分分析では、同じ品目でも時期と産地により一般成分組成の変動が顕著であることが判明したため、栄養の変動が個体に与える影響や園館差が何に起因するか精査を続けていく必要がある。

泌尿器疾患に影響する要因を探り、個体の状態とそれに基づく飼育環境設定や給餌内容を組み立てられるようにすることで飼育技術の確立を目指し、今後の繁殖計画に役立て、飼育下個体群維持に努めたい。